

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 マルハニチロ株式会社
 コード番号 1333 URL <https://www.maruha-nichiro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池見 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長役 (氏名) 目時 弘幸 TEL 03-6833-1195
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	507,356	4.6	16,757	5.2	20,914	△1.4	10,894	△17.0
2023年3月期第2四半期	485,241	17.7	15,933	27.9	21,209	53.1	13,129	39.0

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 23,285百万円（△14.5%） 2023年3月期第2四半期 27,249百万円（89.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	215.94	—
2023年3月期第2四半期	253.64	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	672,722	231,417	28.9
2023年3月期	637,227	212,522	28.0

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 194,673百万円 2023年3月期 178,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980,000	△4.0	27,000	△8.7	27,000	△19.4	18,500	△0.5	366.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、〔添付資料〕P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	50,578,837株	2023年3月期	50,578,837株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	126,880株	2023年3月期	128,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	50,450,967株	2023年3月期2Q	51,765,934株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には当該信託が保有する当社株式（2024年3月期2Q 87,176株、2023年3月期 89,476株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年3月期2Q 88,621株、2023年3月期2Q 1,821株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、消費活動が正常化に向かい、回復基調が持続しております。

一方、原材料価格の高止まり、円安等により、業界全体でも価格の改定が継続するなか、消費者の生活防衛意識が一層高まるなど、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、長期経営ビジョンの実現に向けて、引き続き「経営戦略とサステナビリティの統合」「価値創造経営の実践」「持続的成長のための経営基盤強化」に取り組んでまいりました。

(長期経営ビジョン)

- ①事業活動を通じた経済価値、社会価値、環境価値の創造により、持続可能な地域・社会づくりに貢献する
- ②総合食品企業として、グローバルに「マルハニチロブランド」の提供価値を高め、お客様の健康価値創造に貢献する
- ③水産資源調達力と食品加工技術力に基づく持続可能なバリューチェーンを強化し、企業価値の最大化を実現する

その結果、売上高は507,356百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は16,757百万円（前年同期比5.2%増）、経常利益は20,914百万円（前年同期比1.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,894百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産資源事業

水産資源事業は、国内外で漁業を行う漁業ユニット、国内において主にブリ、カンパチ、マグロの養殖を行う養殖ユニット、国内外にわたり水産物の調達・市場流通も含む販売ネットワークを持つ水産商事ユニット、中国・東南アジア・北米・欧州において水産物・加工食品の生産・販売を行う海外ユニットから構成され、国内外の市場動向を注視しながら、収益の確保に努めました。

漁業ユニットは、メロを始め主要魚種の販売好調により増収となりましたが、漁船の稼働率低下による漁獲数量の減少や燃油代の高騰により減益となりました。

養殖ユニットは、主にブリ、カンパチの販売数量増加及び昨年度より引き続き販売価格が高値で推移していることから売上は前年並みも、飼料費等の高騰による原価上昇により減益となりました。

水産商事ユニットは、水産物全般で高値圏を維持し売上は前年並みも、一部魚種の国内における消費減少に対応するため在庫ポジションを調整し、減益となりました。

海外ユニットは、北米ではアラスカのスケソウダラ漁獲枠の増枠もあり供給増、すりみ、フィレの軟調な相場の中、販売遅れと単価低下により減益、欧州は昨年度に子会社化したイギリス水産加工販売会社及びオランダの食品卸会社が堅調に推移し増収増益、アジアにおいてはタイのペットフードが主要販売先である北米での在庫調整により減収減益となり、全体においては増収減益となりました。

以上の結果、水産資源事業の売上高は288,688百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は7,975百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

加工食品事業

加工食品事業は、家庭用冷凍食品・缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・調味料・フリーズドライ製品等の製造・販売を行う加工食品ユニット及び化成品の製造・販売を行うファインケミカルユニットから構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

加工食品ユニットは、消費者の節約志向の影響もあり減収も、価格改定の効果等により増益となりました。

ファインケミカルユニットは、機能性表示食品制度の運用方法の見直しによる顧客の買い控え及びペルーのアンチョビー禁漁による原料の値上がり等が影響し、減収減益となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は51,765百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は3,191百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

食材流通事業

食材流通事業は、多様な業態に対して水産商材や業務用商材の製造・販売を行う食材流通ユニット、国内外の畜産物を取り扱う畜産ユニットから構成され、グループにおける原料調達力、商品開発力、加工技術力を結集して業態ニーズにお応えする商品を提案し、収益の確保に努めました。

食材流通ユニットは、外食・介護・生協・給食・CVS向け等への販売が堅調に推移したこと及びコロナ後の需要回復などにより増収となりました。また、原材料・エネルギーコストなどの上昇に対して、価格改定に努めたこと及びアイテム削減などによる業務効率化・生産性向上等に努めたことにより、増益となりました。

畜産ユニットは、全般的な畜肉相場の上昇に伴い畜肉製品販売価格の値上げを実施したこと及び輸入食肉の販売が堅調に推移したことから、増収増益となりました。

以上の結果、食材流通事業の売上高は157,158百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は4,032百万円（前年同期比157.6%増）となりました。

物流事業

物流事業は、大都市を中心に在庫数量が高水準で推移したことに加え、電気料金等のコスト上昇を価格に反映したことなどにより、売上高は9,044百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は1,497百万円（前年同期比105.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は672,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,495百万円増加いたしました。これは、主として売上債権及び棚卸資産の増加によるものであります。

負債は441,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,600百万円増加いたしました。これは、主として仕入債務及び有利子負債の増加によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は231,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,894百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月8日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,679	31,644
受取手形、売掛金及び契約資産	131,769	148,378
棚卸資産	216,698	228,256
その他	10,903	12,339
貸倒引当金	△410	△378
流動資産合計	392,639	420,241
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,417	42,496
その他(純額)	106,577	107,593
有形固定資産合計	148,995	150,089
無形固定資産		
のれん	8,868	8,514
その他	22,860	24,511
無形固定資産合計	31,728	33,026
投資その他の資産		
投資その他の資産	65,386	70,869
貸倒引当金	△1,522	△1,504
投資その他の資産合計	63,864	69,364
固定資産合計	244,587	252,481
資産合計	637,227	672,722
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,701	46,773
短期借入金	174,228	159,002
引当金	1,893	3,725
その他	47,625	54,154
流動負債合計	265,448	263,656
固定負債		
社債	5,000	18,000
長期借入金	121,910	127,971
退職給付に係る負債	19,091	19,147
引当金	165	191
その他	13,087	12,336
固定負債合計	159,255	177,648
負債合計	424,704	441,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	36,634	36,634
利益剰余金	107,313	114,923
自己株式	△308	△305
株主資本合計	163,639	171,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,782	10,339
為替換算調整勘定	7,920	14,183
退職給付に係る調整累計額	△1,030	△1,101
その他の包括利益累計額合計	14,672	23,421
非支配株主持分	34,210	36,744
純資産合計	212,522	231,417
負債純資産合計	637,227	672,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	485,241	507,356
売上原価	416,993	437,735
売上総利益	68,248	69,621
販売費及び一般管理費	52,314	52,863
営業利益	15,933	16,757
営業外収益		
受取配当金	632	762
為替差益	3,962	2,636
持分法による投資利益	625	831
雑収入	1,258	1,793
営業外収益合計	6,479	6,024
営業外費用		
支払利息	915	1,544
雑支出	287	322
営業外費用合計	1,203	1,867
経常利益	21,209	20,914
特別利益		
固定資産売却益	1,609	97
段階取得に係る差益	316	—
その他	534	62
特別利益合計	2,460	159
特別損失		
固定資産処分損	65	95
減損損失	—	350
火災損失	2,157	—
投資有価証券評価損	210	421
損害賠償金	—	244
損害賠償損失引当金繰入額	—	1,579
その他	51	512
特別損失合計	2,486	3,204
税金等調整前四半期純利益	21,183	17,870
法人税等	5,396	5,603
四半期純利益	15,787	12,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,657	1,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,129	10,894

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	15,787	12,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△777	2,563
為替換算調整勘定	10,597	7,401
退職給付に係る調整額	△226	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	1,868	1,125
その他の包括利益合計	11,461	11,018
四半期包括利益	27,249	23,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,398	19,643
非支配株主に係る四半期包括利益	5,850	3,642

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(社債の発行)

当社は、2023年7月31日に開催した取締役会の決議に基づき、2023年8月31日を払込期日とする第2回国内無担保普通社債を発行しております。

その概要は次のとおりであります。

1. 名称 : マルハニチロ株式会社 第2回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
2. 社債総額 : 金13,000百万円
3. 発行価格 : 各社債の金額100円につき金100円
4. 利率 : 年0.864%
5. 償還期限 : 2028年8月31日
6. 払込期日 : 2023年8月31日
7. 償還方法 : 満期償還 (但し、払込期日の翌日以降いつでも買入消却できる)
8. 担保 : 本社債には担保及び保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。
9. 資金使途 : 借入金返済資金、設備投資資金、投融資資金及び運転資金

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産資源	加工食品	食材流通	物流	計				
売上高									
外部顧客への売上高	275,263	55,012	146,085	8,681	485,043	198	485,241	—	485,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,398	1,750	3,846	3,656	38,653	104	38,758	△38,758	—
計	304,662	56,763	149,932	12,338	523,696	303	523,999	△38,758	485,241
セグメント利益	11,270	2,415	1,565	727	15,978	138	16,117	△183	15,933

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△183百万円には、セグメント間取引消去△72百万円及び全社費用配賦差額△111百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産資源	加工食品	食材流通	物流	計				
売上高									
外部顧客への売上高	288,688	51,765	157,158	9,044	506,656	700	507,356	—	507,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,415	3,547	5,066	3,918	40,947	98	41,045	△41,045	—
計	317,103	55,312	162,224	12,962	547,603	798	548,401	△41,045	507,356
セグメント利益	7,975	3,191	4,032	1,497	16,697	475	17,172	△415	16,757

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去39百万円及び全社費用配賦差額△454百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(保険金の確定)

2022年9月24日に当社広島工場において発生いたしました火災に係る保険金額が2023年10月31日に確定いたしましたので、2024年3月期第3四半期連結会計期間において受取保険金7,969百万円を特別利益として計上する予定であります。